

4. キャップ制（履修制限制度）

大学設置基準では、「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めなければならない」と規定されています。

本学では、単位の実質化を図るとともに、各年次にわたって適切に履修することで学修の質を向上させることを目的とし、『**キャップ制**』を導入しています。キャップ制とは、**1学期で履修できる単位数の上限を設定する制度**です。

大学設置基準上1単位は、教員が教室等で授業を行う時間に加え、学生が予習や復習など教室外において学修する時間の合計で、標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成することになっています。また、これを基礎とし、授業期間は年間およそ30週、約30単位を修得することが標準とされ、大学の卒業要件は4年間にわたって124単位を修得することを基本として制度設計されています。通常の授業科目は15週間で実施されますので、1単位の授業科目は、毎週3時間の学修を必要とする内容をもって構成されます。

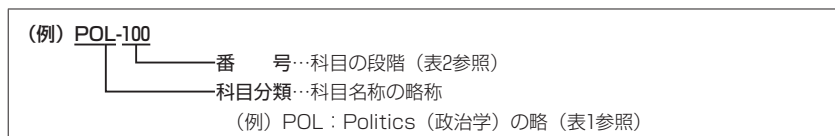
例えば、1学期で20単位を履修したとすると、毎週 $20 \times 3 = 60$ 時間学修することになります。週60時間ということは、月曜日から土曜日までの6日間毎日10時間学修することになります。実際には、いわゆる「単位時間」で計算しますので、1日あたり7.5時間学修することになります。

5. 科目ナンバリングについて

本学では**科目ナンバリング**を導入しています。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けになります。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**段階を表す番号**」の組み合わせで表します。



科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されています。

表1 科目分類

分類	略称	英語名称	分類	略称	英語名称
キリスト教学	CHR	Christian Studies	情報学基礎理論	THI	Theory of informatics
初年次教育	FYE	First Year Experience	ソフトウェア	SOF	Software
英語	ENG	English	計算機システム	COS	Computer system
ドイツ語	GER	German	情報ネットワーク	INN	Information network
フランス語	FRE	French	図書館情報学・人文社会情報学	LIH	Library and information science/ Humanistic social informatics
スペイン語	SPA	Spanish	環境学	EAE	Environmental science
イタリア語	ITA	Italian	デザイン学	DES	Design science
中国語	CHI	Chinese	衣・住生活学	CLD	Clothing life/Dwelling life
韓国語	KOR	Korean	食生活学	EAH	Eating habits
日本語	JAP	Japanese	科学社会学・科学技術史	SHS	Sociology/History of science and technology
芸術一般	ARL	Art at large	経済史	ECH	Economic history
日本文学	JLT	Japanese literature	経営学	MAN	Management